

人を診る力。



Hey Dr.!
研修は
富山県!

vol.11

平成25年12月発行



目次

1. 富山県内の臨床研修病院一覧 …P1
2. 県内臨床研修病院からのメッセージ(県東部) …P2~P8
 <特集> 大学時代、「コレ」だけはやっとかれ!
 - ★研修医・若手医師からのメッセージ
 - ★先輩医師からのメッセージ
 - 黒部市民病院
 - 富山県立中央病院
 - 富山市立富山市民病院
 - 富山大学附属病院
 - 富山赤十字病院
 - 富山県済生会富山病院
3. いろんな催しやっています！各種イベント開催報告 …P9~P10
 - ・全国個別進路相談会の開催
 - ・レジデントカフェの開催
 - ・各種合同説明会(レジナビ等)への出展
 - ・富山県臨床研修病院見学会の開催

富山県内の臨床研修病院



病院名	所在地	病床数	後期研修	電話番号
黒部市民病院	黒部市三日市 1108-1	<414床>	○	0765-54-2211
富山県立中央病院	富山市西長江 2-2-78	<735床>	○	076-424-1531
富山市立富山市民病院	富山市今泉北部町 2-1	<595床>	○	076-422-1112
富山大学附属病院	富山市杉谷 2630	<612床>	○	076-434-2281
富山赤十字病院	富山市牛島本町 2-1-58	<435床>	—	076-433-2222
富山県済生会富山病院	富山市楠木 33-1	<250床>	○	076-437-1111
高岡市民病院	高岡市宝町 4-1	<476床>	○	0766-23-0204
富山県済生会高岡病院	高岡市二塚 387-1	<270床>	○	0766-21-0570
厚生連高岡病院	高岡市永楽町 5-10	<681床>	○	0766-21-3930
金沢医科大学氷見市民病院	氷見市鞆川 1130	<250床>	○	0766-74-1900
市立砺波総合病院	砺波市新富町 1-61	<514床>	○	0763-32-3320
南砺市民病院	南砺市井波 938	<180床>	○	0763-82-1475

《特集》

大学時代



「コレ」

だけはやっとかかれ!

《県東部編》



長いようで短い大学の6年間、
どのようにして過ごすのが正しいのでしょうか？
良い医師になるためには何をしておくべきなのか…？
目指す姿が決まっている人も決まってない人も
「未来の自分」についてちょっと考えてみませんか？
現在バリバリ活躍する先生方の体験談やアドバイスの中に
そのヒントがあるかも…？



黒部市民病院 P 3
富山県立中央病院 P 4
富山市立富山市民病院 P 5
富山大学附属病院 P 6
富山赤十字病院 P 7
富山県済生会富山病院 P 8

◇「県西部編」は、次号（26年3月発行予定）に掲載予定です。

1

黒部市民病院



氏名 才津 義亮
初期研修医 1年生
出身大学 富山大学

◆ 研修医からのメッセージ(1)

大学時代の思い出といえば、部活の剣道が一番だと思います。

剣道で鍛えた精神力、粘り強さは今の初期研修にも大いに役立っていると思います。

また、実習等でもっとやっておけばよかったと思うことは、手技的な分野や、OSCE等で行う基本的な診察の方法です。

黒部市民病院は、そのような基本的な診療を救急等で多く経験することができます。オールラウンダーを目指す方には最適だと思います。また、国際医療交流、病院全体で研修医へ様々な分野でサポートする体制も特色の1つだと思います。

文面だけでは伝わりきれない部分がたくさんあると思います。まずは一度見学に来てその空気に触れてみて下さい。皆さんからの見学の申込を心よりお待ちしております。

◆ 研修医からのメッセージ(2)

徳島大学出身で、金沢大学病院と黒部市民病院のたすき掛け研修を選択しました澤田香織と申します。

学生時代の勉強で一番大事だと思うことは、やはり日々の勉強をこつこつやることだと思います。その積み重ねが良い結果に繋がっていくと思います。

私は現在4月から腎臓内科、胃腸科をまわり現在は循環器内科を勉強させてもらっています。緊急の呼出もあり大変な部分もありますが身につくことが大変多いと思います。

こちらの実習の1日の流れとしては、担当ドクターと病棟回診の後、入院患者さんの治療方針の相談や検査の見学や外来見学などで、初診時の問診や心エコーもさせていただいています。そのほかに月4~5回の日当直と週に1度の日中の救急対応があります。

卒業試験、国家試験に向けての勉強は辛いですが、これからもがんばってください。合格の後は、是非とも黒部市民病院での初期研修をお勧めします。是非とも一度見学にお越し下さい。お待ちしております。

氏名 澤田 香織
初期研修医 1年生(金沢大たすきがけ)
出身大学 徳島大学

病院からのお知らせ

当院は、富山県東部の救急、急性期医療を支える基幹病院です。

現在、在籍している研修医は18名で皆大変仲が良くアットホームな雰囲気です。

是非ともこの雰囲気を体験してみてください。

皆さんからの見学の申込を心よりお待ちしております。

詳しくは、病院ホームページトップの「臨床研修センター」のアイコンをクリック、もしくは担当者メールアドレス(somu2@med.kurobe.toyama.jp)までお問い合わせください。

◆ 研修医からのメッセージ

実際に臨床医として働き始めて、学生時代にもっと勉強しておけばよかったことがいくつかあります。各疾患についての知識だけを習得するのではなく、どういった経過をたどり、どういう状態になれば退院になるのかといったことも勉強しておけばいいと思います。また、できれば採血、エコー検査などの手技についても、機会があれば経験しておけばいいと考えます。その他、各疾患に対する薬剤の使い方なども勉強しておけば役に立つと思います。国家試験は普通どおりにやっていたら合格(?)するので、もっと幅広い学習や経験をしてあげばいいのでは。



氏名 中村 一樹
診療科 初期研修医
出身大学 自治医科大学
卒業年 平成25年
趣味 ソフトテニス



初期研修医が夏に交替で立山診療所に赴き診療にあたり、貴重な臨床経験を積んでいます。

◆ 先輩医師からのメッセージ

最近の若い人たちの風潮として、「積極性に欠け、そんなに頑張らなくてもほどほどにやればいい」「向上心に乏しい」などといったことが言われます。しかし、当院で働いている初期研修医の先生方を見ると、みんな元気に積極的に責任感を持って仕事に向かっています。こういう若い人たちの姿を見ると、日本の将来も明るいのではないかと感じます。これからの医師を目指す人たちにぜひ、身に着けてほしいことは、医療を行っていく上で非常に重要となる問題解決能力などの基本的な思考力、判断力です。その一方で、医療に携わる人間としての人格の涵養にも努めて欲しいと思います。



氏名 畑崎喜芳
診療科 小児科
出身大学 信州大学

病院からのお知らせ

病院見学を随時受付中です。詳しくは、当院のホームページをご覧ください。

(URL <http://www.tch.pref.toyama.jp/rinsyo/index.html>)

また、来年春休みに、参加型病院見学会（エクスターン・シップ）を計画しています。近々、ホームページに概要を掲載いたします。

◆ 研修医からのメッセージ

研修医室からこんにちは。さて、あなたは学生生活エンジョイしているでしょうか。はい！と答えてくれた人は、その調子で。どうかな～、と思った人、悩んだってしょうがない、楽しまなければソンですよ。もう消えて無くなりたいと思っている人、もう少し辛抱しましょう。人生があなたに何かを期待しています。

働き始めると、あなたの周りの環境は変わります。労働は時間を奪います。さらに年を取れば、結婚して、子どもが生まれ、家庭を守り、親の介護もせにゃならんかもしれません。暇を持って余すことはないでしょう。ただ、対価として得られるものがある分、時間を取られることは自由を奪われることを意味しません。今なんか、学生のときより、余計にの～びのびしていると感じます。あなたに伝えたいことがあるとしたら、これだけです。明日やろうと思っていること、心が惹かれるけど先延ばしにしてきたこと、友達から思わぬ誘いがあったときなど、四の五の言わず、すぐやってみましょう！むむ、この日は当直があるから行けないぞ、なんかくたびれるからパスで、って言い訳は定年になるまでとっておきましょう。

金沢大学の教員の皆さま、講義中はずっといびきをかいていて申し訳ありませんでした。この場を借りてお詫びします。



氏名 堀 大介 研修医 2年次
金沢大学 平成24年卒

※ 写真は、デューク大学の研修へ向かう機中にて

◆ 先輩医師からのメッセージ

今回、医学生や研修医にとって、少し耳の痛い話をしようと思う。

近頃「ゆとり世代」と言われる若手医師の憂慮すべき行動を目にすることがある。必要な医療情報をインターネットなど駆使して、効率よく収集するなど、物事をスマートにこなすものの、敬語の使い方や謝罪の仕方を知らず、不用意な発言で患者さんを激怒させるなど、人間関係に対するスキルが不足している。「ゆとり世代」は物凄くプライドが高く、かつ非常に傷つきやすいと言われる。世間の不合理や理不尽を体験しておらず、絶対に傷つかずにプライドを満足させたい気持ちが無意識に言葉や行動に出てしまうようである。

今の医学生の皆さんには、時間に余裕のある学生時代に努めて読書をする、サークル活動やアルバイトを通じて社会性を鍛えることを勧めたい。

医師には特に高い倫理観や社会規範の遵守が求められることを改めて自覚してもらいたい。下手なプライドは捨て、良き医師となれるように一意専心の気持ちで研修に励んでほしい。



氏名 金田 尚
小児科部長
浜松医科大学卒

病院からのお知らせ

当院では、病院見学を随時受付中です。

詳しくは、当院ホームページトップの「臨床研修のご案内」「病院見学・実習について」をクリック、もしくは、メールアドレス（jimukyoku@tch.toyama.toyama.jp）までお問い合わせください。

4

富山大学附属病院

◆ 研修医からのメッセージ

＜大学時代にやっておいて良かったこと＞

実際の患者さんで学ぶことはやはり印象に残るので、BSL

を真剣に取り組んだことはすごく役立っていると思います。研修医になると勉強すべきことが山積みなので、問診や身体所見のとり方、カルテの書き方など基礎の部分を学生のうちに習得しておくことは医師としての好スタートを切るポイントだと思います。

＜大学時代にもっとやっておけば良かったこと＞

講義をもっと真面目に聞いておけばよかったと思います。部活動やアルバイトで様々な経験を積めたことは一社会人になる上で非常に大切だったと思いますが、授業を疎かにしてしまったことは悔やまれます。



氏名	服部 こそえ
診療科	臨床研修医
出身大学	富山大学
卒業年	平成24年
趣味	食べ歩き



＜志望科を決めている学生さんへ＞

志望科である小児科研修を終えて「子どもは大人のミニチュアではない」と聞いていた通り、小児科独自の疾患や検査、考え方があると実感しています。しかし、他科での実習・研修で得た知識や経験が、小児科で働くにあたり自分の強みになっているのも事実だと思います。志望科が決まっても、学生や初期研修医のうちだからこそ幅広く学ぶというのもオススメです。

◆ 先輩医師からのメッセージ

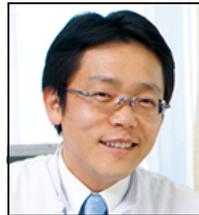
研修医の先生達は病院へどのような服装で来るのでしょうか？スーツにシャツ+ネクタイ、ポロシャツ、T-シャツ、

スラックス、ジーパン、ジャージなど様々な服装の先生に研修棟で会います。かつて学生の頃、時間がないからと下宿から直接白衣を着てきた同級生がいましたが、まさかそんな先生はいないとは思いますが。

私は、医師になってから基本的にスーツにシャツ+ネクタイ、革靴を着用しています。2年目に勤めた病院でも留学中もそうでした。なぜか？それは入局時の教授が医師の身だしなみについてよくお話をしていたからです。人に不快感を与えない服装、身なりに気をつけなさいと教育されました。病院では患者に会う可能性がある、そんな時に恥ずかしくない格好をしておく、これが社会人としてのマナーであると言っていました。

スーツ+シャツ+ネクタイ+革靴、これを制服であると思っしまえば楽なことはありません。シャツは洗い替えがあればOK、スーツは季節ごとあればOK、ネクタイは海外旅行の際免税店で好みのものを自分のおみやげとして購入、靴も壊れない観点から選ぶ、私服を選ぶよりもよっぽど簡単です。

医学部教授はほぼスーツにシャツ+ネクタイです。教授になってから変わったのでしょうか？個人的には知りませんがそうではないと思います。これまで社会人としての教育は医局の上司がしていました。先生方にとって上司とは誰でしょうか？我々は教育係の一員ですが、不十分である感も否めません。医師にとって社会人教育は組織として行われず、各個人に任されています。思い当たる先生は服装から変えてみませんか？いつからやる？今でしょ。



氏名	川口 善治
診療科	整形外科
出身大学	富山医科薬科大学

病院からのお知らせ

病院見学を随時受付中です。

詳しくは、病院ホームページトップの「臨床研修部」のアイコンをクリック、もしくは担当者メールアドレス (resident@med.u-toyama.ac.jp) までお問い合わせください。

5

富山赤十字病院



氏名 岩城 吉孝
診療科 外科
出身大学 新潟大学
卒業年 平成23年

◆ 若手医師からのメッセージ

こんにちは。富山赤十字病院 外科の岩城吉孝です。
部活と各科目の勉強に追われる学生時代、「興味のない分野は勉強したくないな」という方もおられるのではないのでしょうか。実際、医療現場では分野別に細分化され、深い知識や経験を求められる事が多くなり、自分の専攻分野以外の領域は、勉強する機会は少なくなると思います。

医師になってからの勉強はずっと続きますが、今しか勉強することのない領域も多くあります。学生の時に学んでおくべきことは、幅広い疾患の知識を得る事だと思います。学校のテストや国家試験の勉強で学んだことは無駄にはなっていません。僕自身、患者さんから違う分野の事を聞かれたときに、「もっと勉強しておけばよかったな」と痛感することは多々あります。まずは、国家試験合格を目指して全力で頑張ってください。

最後に、外科を目指す学生さんなら、結紮・縫合の練習や解剖学の勉強はやっておいて損は無いと思います。また、どの科でも英語論文の抄読は必須です。医療英語の知識など知っておけば論文も楽に読めると思います。

◆ 先輩医師からのメッセージ



氏名 高田 裕之
診療科 内分泌代謝内科
出身大学 金沢大学

研修医の時に先輩から「内科医は真面目にやれば、だいたい5年で一通りのことはできるようになる」と言われたことを今でもよく覚えています。何でもできるということはないにしろ、確かに5年目くらいになるとみんなある程度のことはできるようになってくるし、それ相応の自信は持てる時期なのかもしれません。当院にくる研修医の多くは貪欲に知識や技術を習得しようとする姿勢がみられます。きっとその姿勢を持ち続けることができれば、数年後には裏付けのある大きな自信につながることでしょう。

話は変わりますが、学生時代にはあまり意識していなかったことで、働きだしてから気をつけるようになったことに「あいさつ」があります。たかが挨拶と思うかもしれませんが、みなさんは人から挨拶をされることと自分から挨拶をすることのどちらが多いのでしょうか。さすがに挨拶を返しさえしない人は稀ですが、残念ながら全ての研修医が自分の方から元気よく挨拶してくれるというわけでもありません。私は朝、病院で会う人は誰であれ、できるだけ自分から挨拶をするようにしています。なぜ知らない人にまで、と思うかもしれませんが、同じ病院で働く人は皆仲間です。お互い気持ちよく挨拶をしていることがまわり回って自分を助けてくれることもあります。

多少物覚えが悪くても、毎朝元気に挨拶をしてくれる研修医にはがんばって欲しいと思ってしまうものです。研修に励むことはもちろん大切ですが、それをしやすい環境を作ることも同じくらい大切です。思い当たる人はまず挨拶されることより、自分から挨拶することが多くなるよう心がけてみてはいかがでしょうか。

病院からのお知らせ

病院見学を随時受付中です。詳しくは、病院ホームページトップの「臨床研修医募集」→「見学について」をご覧ください(<http://www.toyama-med.jrc.or.jp/>)。皆様の見学を職員一同、お待ちしております！！

6

富山県済生会富山病院



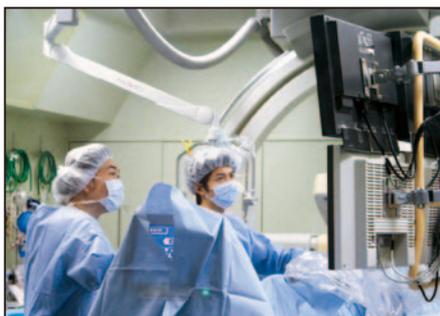
氏名 小野田 寛
 診療科 循環器内科
 出身大学 富山大学
 卒業年 平成22年
 趣味 バドミントン

◆ 若手医師からのメッセージ

医師4年目の循環器内科です。今でも日々学ぶことがたくさんです。

学生時代にやっておけばよかったことは勉強では基礎医学。臨床的なことは現場で身に着けることができますが、病態把握の基本となる生理学や生化学はなかなか働き出してから勉強するのは難しいです。循環器なら不整脈のメカニズムを理解するためイオンチャネルや静止膜電位、心筋収縮を理解するためのカルシウムイオンの動態など、今になってしっかりとやっておけばよかったなと思います。

部活動も大事です。スポーツを通じて仲間とのきずなを深めた経験は何にも代え難いものです。空き時間を見つけては思いっきり遊んで、ストレスをうまく発散させ、オン/オフをうまく切り替えることで、仕事の効率が上がります。今でも



経皮冠動脈インターベンション

病院スタッフとバドミントンをしたり、部活動の経験がいきています。

済生会富山病院はスタッフの顔が見えやすいちょうどいいサイズの病院です。救急で困ったときも各科へのコンサルトも気軽にできます。みなさんの学生時代に学んだ成果をぜひ発揮しにきてください。

◆ 先輩医師からのメッセージ

百聞は一見にしかず、十見は一行にしかず。前記の後半部分は私の造語ですが医業の世界に限らず仕事をする上で

は経験の有無でその後の仕事のはかどりが格段に変わって行きます。とある先生の言葉を紹介します。「今はインターネットがあるので知識はいくらでも手に入れることができる。だけど知恵は経験からしか生まれない」。このように研修医の先生には現場でいろいろなことを経験してもらいたいと思います。本に書いてある内容よりも実際に誰かが使っている方法をまねるほうが安心して治療ができますし、行うまでは非



氏名 野々村 誠
 診療科 循環器内科
 出身大学 富山大学



多職種で心臓リハビリカンファレンス

常に高かった心の壁が一度経験することでとりはらわれ次回からの治療がスムーズに進むこともよく経験されます。先日、東京の某救命センターを見学にいきました。ICUが20床もある立派な設備でスタッフも充実していました。ですが主な診療内容は心筋梗塞、脳卒中、腸管穿孔など我々が通常行っている2次救急とほぼ同じでした。また受け入れ数も1日に割ると1~2人程度であり我々の輪番日も決して引けを取らない印象を持ちました。研修は都会の病院でという志向が強いと思いますが実際の経験を積むには田舎の救急病院という選択もありだと思います。

病院からのお知らせ

済生会富山病院は、臨床研修医及び医学生の方々を全職員が熱意をもって受け入れしています。病院ホームページもご覧いただき、是非気軽に見学にいらして下さい。

富山県済生会富山病院 <http://www.saiseikai-toyama.jp> Mail: hospital@saiseikai-toyama.jp

いろんな催しやってます！

●「全国個別進路相談会」を各地で開催しています ●



↑ たくさんの方が
来てくれました



みなさんからリクエストをいただければ、県内臨床研修病院の研修医や指導医があなたの街におうかがいします！
本年度は石川県金沢市にて開催し、たくさんの方にご参加いただきました。

「僕の、私の街で開催してほしい！」
というご希望がありましたら、ぜひ
メールにてご一報ください！
相談会のあとは、楽しい交流会を開催
しています。（学生無料）



← 交流会の様です。先生方とはもちろんのこと、
学生同士の交流を深めることができますよ。

● 全国の病院説明会に参加しています！ ●

全国で開催されている臨床研修病院説明会で「富山県ブース」を出展しています。
会場にお越しの際は、ぜひ富山県ブースに来てみてください！

《富山県病院群・平成25年度参加イベント》

- ・ eレジフェア【4月21日（日）、パシフィコ横浜】
- ・ 東海北陸地区臨床研修病院合同説明会【5月6日（月・振替）、ポートメッセなごや】
- ・ レジナビフェア2013 in Tokyo【7月14日（日）、東京ビッグサイト】

……平成26年度も引き続き参加予定



いろいろな催しやっています！

●「富山県臨床研修病院見学会」を開催しました●



テレビ局も来ました(^^) 注目度の高いイベントなんですよ



8月21日（水）に富山県立中央病院と厚生連高岡病院で開催し、各地の大学から合計21名の医学生（1～4年生）にご参加いただきました。

治療の様子や救急部門を見学したり、器具を使って実習などを行いました。参加した学生さんからは「実際の現場を見られてよかった。今後の勉強に意欲がわいた」等の感想が寄せられました。



カテーテル検査・治療の様子を見学しています



見学のあとはみんなで食事。先生に気軽に質問もできました

●「レジデントカフェ」を開催しました●

本年度からの新しい試みとして「レジデントカフェ」を開催しました。

6月17日（月）に富山大学構内で、8月20日（火）にオックスカナルパークホテル（富山市牛島町）で開催し、合計35名の医学生（4～6年生）にご参加いただきました。

研修病院ごとにテーブルを設け、軽食と飲み物を楽しみながらフランクな雰囲気の中で、研修医に気軽に質問できるのが特徴です。

来年度も開催予定です。ぜひご参加ください！





表紙・裏表紙の写真…富岩運河環水公園

発行 (問合先)

富山県臨床研修病院連絡協議会 事務局 (富山県厚生部医務課内)
〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7
TEL 076-444-3218 (直通)
FAX 076-444-3495
e-mail doctor-t@esp.pref.toyama.lg.jp

